
名無しの旅日記

秤 晶

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

名無しの旅日記

【Nコード】

N0455Z

【作者名】

秤 晶

【あらすじ】

目を覚ますと記憶を喪失していた男の旅日記、のんびりとしていきたいが男の旅はこれからどうなるのか！？
不定期更新で突然要所を変更する恐れがありますがご了承ください。
感想や書き方についての要望など大歓迎です

一日目（前書き）

目が覚めるとそこはただっ広い草原だった

寝起きの俺は一回伸びをして足元のカバンから取り出したメモ帳の中を見た時に気が付いた

俺はいつたい誰で今まで何をしていたのか覚えてないことに・・・

一日目

どうやら俺は記憶喪失のようだ

とりあえずカバンの中をみたが入っていたのはこのメモ帳と筆記用具、食物、水筒、本、サバイバルキット、お金と思われる硬貨数種類などと手がかりになりそうなものは入っていなかった

このカバンは不思議で質量保存の法則を無視しているようだ
後々思ったが俺がこの時にこのことをあまり気にしていなかったのはこれが俺にとって使い慣れていたからじゃないかと思う

カバンを漁っていたら日が暮れそうになっていたのでサバイバルキットに入っていたテントを立てて今日は寝ることにした
明日は向こう側に見える道らしきものを見に行こうと思う

二日目

起きたら太陽が真上に来ていた

寝すぎた感があるが目覚めはバツチリだ

今日は昨日見つけた道らしきものをまで行った

獣道っぽいが一応轍があるので人の道のような

草の生えぐわいからして多少の交通があるようだ

とりあえずそこらの棒を倒して行き先を決めてみた

ある程度歩いていると森が見えたが日もくれそうだから今日もここらで休むとしよう

昨日よりはテントの組立がうまくいった、少し嬉しかった

晩飯を食べている時に気がついたがこの水筒の中の水は減らないようだ

さすがにひっくり返す勇氣はないが今度検証してみよう

寝る前にカバンに入っていた本を読んでみようと思ったがタイトルに『?』とあるだけで中は白紙だった

ガツカリ感が大きいので今日はこれで寝ることにする

三日目

今日はきちんと朝に起きられた
今日は森を進んで見ようと思う

川があつたのでいったん休憩しようと思う
川の水は飲めるようだから昨日のことを検証してみた
どうやら水筒の中に水が入っている状態で蓋を閉めると一定量まで
増えるようだ

道を進んで小高い丘のてっぺんに着くと道の先に村のようなものが
見えた
明日にはあそこまで着けそうだ

今日は丘の上で寝ようと思う

本の白紙を捲りながらこれは何か考えていると面白いことが起こった
なんと文字が浮き出てきたのである
複雑な形で法則性がわからなかったが不思議と読めたことに一安心
した

本に対して好奇心が擽られたが今日はもう寝ることにしよう

三目目（後書き）

追記：

一応浮き出た内容をまとめてメモしておく

『?』・・・通称『神の知識』。

この世の物なら調べることができる。

この本を使うには一時間本を見続けなければならない。

調べたい物の内容からの逆引きも可能ではある。

・・・

他にも本に関する情報があったが今回は割愛する

四日目

今日は雨が降っているのでテントから出るのを止めた
雨具はあったがやはり雨の日は憂鬱気味だから毛布にくるまってこ
ろごろするに限る

カバンの中にいくつかの武器が入っていた
手に馴染む物と馴染まない物があった
手に馴染む方はどうやら暗器のようだ
記憶を失う前の自分に対して疑心暗鬼になりそうだ・・・センスが
欲しい

そういえば本で自分のことを調べようとしたが白紙のままだった
世の中そううまくいくものじゃないようだ

今日は不貞寝して向こうの村には明日行こう

五目目

今日はよく晴れた一日となった
今日こそは村に行こうと思う

昼過ぎごろには村に着いた

この村はニシス村というらしい

入るときに「変わった服を着ているが君は魔士か？」と聞かれたが
とりあえず「違う」と答えた
魔士とはなんなんだろうか？

この村には宿は一つしかなく一階が受付兼酒場になっていた
受付のオヤジにも「魔士か？」と聞かれたが「記憶がない」と伝え
ると色々教えてくれた

この大陸には大小合わせて約20カ国あり、ここは聖ウエハヤ教王
民国というらしい

この大陸内では通貨は共通でリア（R）と呼ばれるらしい
ここから一番近くの街はどうやら来た道を逆に行けば着くようでそ
の時間いたが俺が目覚めた草原には野性の獣が生息していたらしい
出会わなくてよかった

記憶をなくしてから初めてのベッドだったがサバイバルキットに入
っていた毛布の方が心地よかったため毛布にくるまって寝るとしよう

五目目(後書き)

追記

通貨と魔士について聞いたことと本に乗っていたことを書いておく

通貨は上から

晶貨) 200白金貨) 100,000,000R

白金貨) 50金貨) 5,000,000R

金貨) 2半金貨) 100,000R

半金貨) 5銀貨) 50,000R

銀貨) 2半銀貨) 10,000R

半銀貨) 5円銅貨) 5,000R

円銅貨) 2半円銅貨) 1,000R

半円銅貨) 5角銅貨) 500R

角銅貨) 2半角銅貨) 100R

半角銅貨) 5鉄貨) 50R

鉄貨) 10R

基本的に晶貨や白金貨は国家や大商会間でしか扱われないそうだ

現在の手持ちは2 / 7 4 3 / 3 1 1 Rだった

魔士について・・・魔力を用いて魔法術を行うヒューマノイドの総称。主に魔法士や魔術士などの魔士職を指す。

私でも魔法術を扱えるようなので魔力についてはその時に記述しておこう

10月第三火の日

〔門官日誌〕

入村者・・・三名

カーム・デポン

ホーレンス商会の行商人、販売許可書所持

前回と同様に衣類の販売と、穀類と酒の買収を目的

ティル・シヨペン

行商人見習い

デポン氏の従者として

ナナシ(?)

旅人、ギルドカード不所持

否定されたが服装と魔具と見られる肩掛けカバンから魔士と思われる
名前は偽名のようにだが手配書等が出ていないことと害意が見られな
いことから放浪魔士とし入村を許可

出村者・・・零名

日誌記入者・・・シャン・タホ派遣門官

六日目

今日同じ宿に泊まっていた商人から服を買った

私が着ていた服はわりと上等な物らしく初めは同様の服はないと渋っていたがなんとか言い包めて村人がよく着る服を三着ほど買った

デポン氏は明日には王都にある商会に向かうため村をでるそうなのでついでに同行させてもらえることになった

デポン氏の従者のティル君は行商人見習いで今回は穀類の買取交渉をさせてもらえるらしくとても張り切っていた

あとでデポン氏に聞いたのだが元々ある程度買取値は決まっていたらしくティル君の交渉術はまずまずの結果だったらしい
ただいくつかの物価がうる覚えだったため少し叱られていた

そういえば昨夜は夢を見た

たくさんの本が私を囲みなにかを囁いてくる夢だった

ふと何かに名前を呼ばれ顔を上げると目が覚めてしまった

夢だが私はあの時確かに呼ばれたのは私の名前だと訳の分からない確信を持っている

今日の夢は何か少し楽しみになった

七日目

今日の朝早くに村から出発した

王都へ行くために草原を横断すると聞いたときは驚いた
私はてつきり道なりに行くのかと・・

私の不安を察したのかデポン氏が臭い玉においだまというものをくれた

これは獣の嫌う匂いのする草を調合したもので投げつけることである程度は追い払うことができるらしい

デポン氏は他にも数種類の臭い玉を持っていて簡単な臭い玉なら作れるそうだ

本にも作り方が乗っていたので私も作ってみた

デポン氏曰くなかなかのできらしい

夜になって私がテントを張ると二人にとても驚かれた

なんでも私のテントの支点には結界石と言う魔術石が使われているらしくこのサイズのものはかなり的高级品なんだそうだ

しかし魔術石には使用回数があるらしく王都についたら点検することを勧められた

そうそう、デポン氏に私の持っていた武器を見せてみた

市販品から業物まであるが詳しくはわからないが質はいいものばかり

じらじら

暗器にっついてはわからないそつだ

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0455z/>

名無しの旅日記

2012年1月12日01時48分発行